

# 中国地方整備局の事業進捗等について(河川事業)

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
小瀬川直轄河川改修事業	広島県廿日市市、大竹市 山口県岩国市、和木町	平成27年度～令和26年度	約115億円 約115億円	平成17年には、基本高水流量にせまる洪水が発生しているため、住民の治水に対する関心は高く、河川改修への要望も強い。	2015(H27)年6月26日小瀬川水系河川整備計画(国管理区間)策定。 平成18年度より事業実施している小瀬・中津原地区は令和元年度に事業完了し、小川津地区の築堤に着手している。	事業は順調に進捗しており、関係機関や地域からの要望、協力体制も構築されていることから、今後も円滑な事業進捗が見込まれる。	新技術・新工法を活用するとともに、関係機関等との事業調整、建設発生土の有効利用を図り、コスト削減に努める。 施設点検や維持補修の効率化、施設の長寿命化等のライフサイクルコストを意識し、施設整備を行う。
旭川直轄河川改修事業	岡山県岡山市	令和2年度～令和21年度	約82億円	旭川水系の関係市町村が「旭川・百間川(旭川放水路)改修促進期成会」を組織し、旭川水系の治水対策の促進を強く要望している。	平成25年3月 旭川水系河川整備計画(国管理区間)策定。 現在、地元及び関係機関と事業調整を行いつつ築堤、高潮堤の整備を行っている。	関係機関や地域からの要望、協力体制も構築されていることから、今後も円滑な事業進捗が見込まれる。	掘削箇所が発生する掘削土を築堤材に有効活用し、コスト削減に努める。
太田川直轄河川改修事業	広島県広島市、安芸太田町	令和3年度～令和32年度	約553億円	平成17年9月洪水、平成26年8月豪雨、平成30年7月豪雨でも家屋浸水が発生する洪水被害を受けており、治水事業の要望は強い。	現在、下流デルタ域の高潮堤防や三篠川、根谷川及び中流部河川改修など、事業は順調に進捗している。 平成30年7月豪雨をふまえた治水対策の促進として、地域住民からは引き続き河川改修事業を要望されており、関係期間等との協力体制も構築されていることから、今後も円滑な事業進捗が見込まれる。	住民意見、関係自治体の長並びに関係機関の意見を伺い策定した計画に基づき実施していることから、今後の円滑な事業進捗が見込まれる。	新技術・新工法を活用するとともに、関係機関等との事業調整、建設発生土の有効利用を図り、コスト削減に努める。 施設点検や維持補修の効率化、施設の延命化等のライフサイクルコストを意識し、施設整備を行う。
芦田川直轄河川改修事業	広島県福山市、府中市	令和3年度～令和32年度	約208億円	福山市の北部地域及び府中市の市街地中心部を東西に貫く国道486号の拡幅による沿道型商業施設の集積や福山市立大学の開学(平成23年4月)など、備後地方における行政、経済の中心地としてさらなる発展が望まれている。 芦田川水系の関係市は「芦田川改修促進期成同盟会」を組織し、治水事業の促進を強く要望している。	平成20年度に草戸下流・洗谷地区、平成23年度に栗柄・高木地区の河床掘削が完了し、現在、土生・目崎・父石地区において、河道掘削・築堤、橋梁の架け替えを実施中。	事業は順調に進捗。関係機関や地域からの要望、協力体制も構築されていることから、今後も円滑な事業進捗が見込まれる	新技術・新工法を活用するとともに、掘削箇所が発生する掘削土については、築堤材や資材備蓄場所等の整備に有効活用するとともに、関係機関等と事業調整を行い、他事業への有効利用も図り、コスト削減に努める。